

平成 19 年 4 月 27 日

平成 18 年度 「教育研究支援プロジェクト経費」 報告書

プロジェクトチームの代表者 部・講座等名 芸術系(音楽)教育

氏 名 村澤 由利子

<p>プロジェクトの名称</p>	<p>教員採用試験における弾き歌いや、音楽家の授業においてピアノ伴奏の際に必要な読譜力や音楽性を養うための教材の開発 一 小学校教員のためのピアノ教則本(中級) 一 第3巻 ピアノへのアプローチ</p>	<p>配分 予算額</p>	<p>609,000 円</p>
<p>プロジェクトの概要</p>	<p>本学は、学校教育に関する実践的・理論的な研究を行う「教育のための大学」であり、教育現場における課題解決や、各教科の教材を含む実践的な研究を行う使命を持っている。 平成16年度、17年度のプロジェクト経費により「小学校教員のためのピアノ教則本」初級第1巻と第2巻(それぞれ44ページ)を200部ずつ印刷し、完成することができた。 この教則本は教員採用試験と密接な関係がある「初等音楽I・II」の授業に使用できるのみならず、種々のピアノの授業でも、大学院生を含む初歩のピアノ奏者のために使用できるような考慮した。 平成18年度は、「小学校教員のためのピアノ教則本(中級)」第3巻ピアノへのアプローチ(村澤由利子・森正、全48ページ)を作成し200部印刷した。内容は、前2巻よりさらに進んだものとなり、本学の学生・大学院生のみならず、特に大学院で勉強している現職教員が、音楽の授業において最低限の知識として必要と思われる楽典や、ピアノの基礎練習を取り入れた。 この第3巻(中級)は、ピアノの成り立ち、フィンガーウェイツを取り入れた指の練習法、読譜力をつけるための反行や分散和音を取り入れた、ブラインドタッチの練習、ピアノの基礎練習と伴奏教材、弾きやすいピアノ練習曲(バロックからロマン派まで)を選び、初級第1巻、第2巻を勉強した学生達がさらに進んで力がつくように考えた。 今回もピアノの授業等の教材として、無料で学生達に配布し使用することとし、さらに小学校教員を目指す人達や、現職教員にも希望があれば配布する。</p>		
<p>成果の概要</p>	<p>「小学校教員のためのピアノ教則本(中級)第3巻」 一 ピアノへのアプローチ(村澤由利子・森正、全48ページ) 内容 I ピアノへのアプローチ 1. ピアノへのアプローチ 2. を使用した指の筋肉の訓練 3. 基本的な楽典 II ブラインドタッチについて 1. 2度から4度までの練習 2. 5本指の練習 3. 手の位置のために III ピアノの基礎練習と伴奏教材 1. 指一本一本の確立 2. スケールの練習と運指 3. アルペジオの練習と運指 4. 簡単な伴奏譜 IV ピアノ練習曲 前2巻の初級より進んで、ピアノを練習する上で必要とされるテクニックと音楽性が身に着くよう、バロックからロマン派までヘンデル、バッハ、ツェルニー、クーラウ、チャイコフスキー、メンデルスゾーンの6曲による練習曲。 以上のように、「ピアノ教則本(初級)第1巻、第2巻」と同様にこの「中級第3巻一ピアノへのアプローチ」も初等音楽I・IIをはじめとする、様々な授業で使用することにより、小学校教員を目指す学生達にとって採用試験や学校現場で必要とされる「ひきうたい」や「ピアノ伴奏」の方法について学ぶことが出来る。また、自学自習の際にも使用出来るように、それぞれ解説を含め、進度に無理なく応じるなどの配慮がなされている。</p>		

- (注) 1. 箇条書き等により簡明に記入すること。
2. 概要については、800字程度にまとめること。
3. 研究協力者として院生等が参加している場合、院生等の報告書があれば添付すること。
4. なるべくパソコン等で作成願います。